



「めざそう交通マナー日本一、大野」(春の交通安全運動から)

第284回 3月定例会

議案 19 件 を 可 決

市会案 6 件 も 可 決

第二百八十四回定例会市議会は三月六日に開会され、理事者から提出された議案十九件と市会案六件を審議しました。

初日は、会期を二十五日までの二十日間と定めて、散会。

七日は、予定されていた議事を翌日に繰り延べて、延会。

八日には、任期満了に伴う各常任委員会委員および議会運営委員会委員を選任し、各正・副委員長を選出の後、市長の所信表明と、平成八年度一般会計予算案をはじめとする各提出議案についての提案理由説明が行われました。

十四日には、冒頭に国の景気浮揚対策に伴う平成七年度の補正予算案五件を可決の後、代表質問に入り、清風会代表 松井治男議員、友心会代表 畑中章男議員、がそれぞれ登壇。

引き続き、一般質問として、
本田 章(清風会)、米村輝子(友心会)、
浦井智治(共産党)、の三議員が、また十五日には、
岡田高大(清風会)、高岡和行(清風会)、
谷口彰三(清風会)、野田幾久代(無)、
柴 正夫(共産党)、村西利栄(社民党)、の六議員が、
それぞれ質問に立ちました。

質問終了後、議員提案による「住専問題の徹底究明を求める意見書」を可決。続いて、請願・陳情が上程され、議案ならびに請願・陳情が所管の各委員会に付託されました。

最終日には各委員長報告の後、議案等の採決が行われ、議案十四件はいずれも原案のとおり可決。

各関係行政機関に対し意見書を提出する市会案六件も可決されました。

また、議長の辞職に伴う議長選挙が行われ、新しい議長が選出されました。

皆さんから提出された請願・陳情の結果は、別掲のとおりです。

市政をきく 一般質問から

部制導入について

問 ①四月人事異動による、予算執行の遅れはないか。

②新組織で行政運営が軌道に乗るのはいつごろか。

また、部長・課長に対しての権限はどのあたりまでか。

答 ①政策形成機能と総合調整機能等が充実されるもので、二十一世紀の大野市づくりには、欠くことのできない行政システムと確信しており、予算執行に際しても、部制導入のメリットである権限委譲で決裁事務のスピード化・関係課との連携強化を図り、着実に成果をあげたいと考えている。

②適正な事務室の配置と行政運営には、庁舎増築後となり、少なくとも八年度の後半までは、

市民の方々にも不便をかける事もあると思うが協力願いたい。
なお、権限委譲は課長以下は現在のままで、部長は、市長・助役の権限がある程度与えることを基本的な考えとしている。

財政の見通しについて

問 ①基金を相当取り崩した予算編成だが、大きな支出を伴う事業計画の遂行に際して、限界がくるのではないか。

②五年後、十年後の会計別予算の予想はどうか。

答 財政調整基金は、経済変動等や特別の事業の実施に備えるもので、今年度は五億円の繰り入れを計上したが、最終的には税収や地方交付税の調整財源の役割も持っている。

現段階で試算すると、七年度

末の現在高はおよそ十四億円程度となり、市税が伸び悩んでいる状況では、今後とも財源不足をこの基金で賄うことには限界がある。近年、特徴的な地域づくり事業を進めてきた結果、財政硬直化の傾向も表われてきたが、公共下水道事業の推進なども重要で、限られた財源の中、優先度・緊急性・事業効果等、

理経費が中心であり、これまでも使用料収入と一般会計からの補填によって維持しており、堅持出来る見込だが、各施設とも配水管が老朽化し、更新が必要なたため事業の集中化を避け、計画的に実施の必要がある。
農業集落排水事業会計は、新規の建設費と供用開始後の維持管理経費等を計上しており、建設途上においては地元負担金、

②国民健康保険事業は、被保険者数の減少と薬価や医療単価の改定による医療費の増加要因とを総合しても今のところ減少傾向にあるが、いつ逆転するかの見極めは困難な状況にある。
また、老人保健会計は、高齢化比率が高い当市の人口構成に比例し、増加傾向が顕著で、この傾向は当分の間、続くものと思われる。

国・県支出金と市債によって財源を手当することが出来るが、供用開始した後は、使用料収入が単年度の必要経費をやつと補う程度であり、市債の償還は一般会計の繰り入れで補填せざるを得ないという状況にある。
水道事業会計は、赤字分として、約六千万円を一般会計から補填しているが、水質難区域等への拡張も収支状況を好転させるには至っていない。既設区域内での加入促進や、有収水量を

増加させる努力を続けながら、赤字の減少に努力している。
いずれにしても、今後とも健全財政を旨として、運営にあたることはもとより、地方分権の推進に合わせて国から地方への財源の賦与、制度・システムの改善に努力を続けなければならぬと考えている。

農業集落排水について

問 集落排水マップが作成されているが、実情にあつていないか。また、集落間で調整のつかない場合に取残された集落、加入したくても遠距離等の場合今後、事業推進の上で基本的な考え方はどうか。

答 この事業には、農業用排水の水質保全など様々な採択基準があり、事業費が割高とならないようにと国等の指導もある。

当市の農村部は面積が広く、集落が点在しているため、集排マップで三十六処理区を計画しており、河川の横断、集落間の距離や地形勾配等も勘案して計画している。なお、小規模分散型の汚水処理施設のため、維持管理費や採算性等の施設の効率性を考慮し、位置的に特別な集落を除いては、できる限り集落単位で施行する考えである。

審議日程

6日	本会議	(会期の決定)
7日	本会議	(延期)
8日	本会議	(常任委員会・委員会の選任、議案上程、提案理由の説明)
9日	休会	
13日	本会議	(追加議案上程・採決、代表質問、一般質問)
14日	本会議	(一般質問、市会案上程・採決、討論・陳情上程、各案件委員会付託)
15日	本会議	(建設・産業経済)
16日	休会	
17日	委員会	(建設・産業経済)
18日	委員会	("
19日	委員会	("
20日	休会	
21日	委員会	(教育民生・総務)
22日	委員会	("
23日	委員会	(中部縦貫自動車道等整備促進特別)
24日	休会	
25日	本会議	(各委員長報告・採決、質疑・討論、市長選挙、市会案上程・採決、討論)

五万人都市構想に
ついて

問 こと十年で人口の減少が顕著になり、しかも人口の構成は若い世代が流出し、高齢化が進み、出生数が減少という傾向に対処する増加政策はどのようなものか。

答 快適で安全なまちづくりを進める生活環境基盤の整備とともに、企業誘致などの振興を図る産業基盤の整備、中部縦貫自動車道の早期対応等、社会基盤の整備を総合的に進め、若者の定住を促進することであり、あくまでも、行政と民間が一体となって人口の社会動態を増加に転じようとするのが大切であるが、直ぐに人口が増えるという施策にはならないのではない

かと考えている。

やはり道路網の整備をするこ
とによって、大野・福井間の所
要時間が三十分程度に短縮され
れば、住宅政策も効果を発揮し
てくるとも考えられ、今後とも
より以上に努力したい。

住宅政策について

問 ①公共賃貸住宅総合再生計
画策定事業の性格はどうか。

②三十年以上経過した市営住宅
が多いが、早急に改築を進める
必要があると思うがどうか。

また、建設に際しては、地元
産材を利用した木造住宅が最適
と思うがどうか。

答 既存団地の統廃合や新規住
宅建設等の再生事業を実施する
ための基本方針を決めるもので



「早期の改築が望まれる
市営住宅(南新在家)」

あり、福祉施策との連携方法、
住み替えの斡旋等、他の事業主
体との連携方法についても調査
を実施する。また、街づくりの
観点から周辺地域も含めた住環
境整備の方法も検討し、具体的
な事業の手法、スケジュール等
を策定して、効率的に推進を図
っていくものである。

②現在、七団地二百十八戸の市
営住宅があり、ほとんどが昭和
四十年以前に建設された木造住
宅で老朽化が進み入居者の住環
境を低下させているため、建て
替え等による再生整備が緊急課
題となっている。

木造の住宅は日本の文化でも
あり、木の質感に対する市民の
ニーズや愛着が強いことから、
土地利用の状況、立地の条件、
耐久度、建設費等を総合的に勘
案し、公共賃貸住宅総合再生計
画策定事業の中で前向きに検討
したいと考えている。

都市計画マスタープラ
ン策定事業について

問 ①委託先、委託の内容と策
定研究会の審議状況、素案の進
捗状況を聞きたい。

②計画の策定過程では、「まち
づくり市民会議」を開催すると
あるが、メンバー・人数等につ
いて聞きたい。

答 ①委託先は、福井市に本社
のある「株式会社サンワコン」
と契約しており、内容は、都市
の現況データの収集と課題を整
理し、重点課題を洗い出し、重
点整備地区の基本方針や都市全
体の基本構想を検討して、研究
会に諮りながら基本構想の素案
をまとめることとしている。

なお、中堅職員十二名による
都市マスタープラン策定研究会
を設け、これまで三回研究会を
開催し、素案づくりに取り組ん
でいるところである。

その中では重点課題として位
置付けされている中部縦貫自動
車道インター周辺の土地利用、
亀山周辺の土地利用や西部アク
セス問題について議論が集中し
ているところである。

しかし、都
市マスター
プランは都市全
体についての



第283回 臨時市議会

～大野市部等設置条例案など、
市機構改革に伴う議案6件を可決～

平成8年1月26日、第283回臨時市議会が開かれ、
理事者から提出された6議案を審議しました。
各議案は、本年4月からの市役所機構改革に伴う条
例案で、いずれも原案のとおり可決されました。

構想を作成するもので、まだ検
討すべき事項も残っており、作
成を急いでいる。

②可能な限り市民参加システム
を取り入れるため、市街地及び
その周辺地区より特に肩書きに
こだわらず、前向きな意見を持
っている方等も予定しており、
八十名程度からなる「街づくり
市民会議」を設け、計画に対す
る意見を反映していきたいと考
えており、策定過程では、学識
経験者、関係行政機関、市民代
表など十五名程度からなる、
「計画策定委員会」を設置し、
プランをまとめていきたいと考
えている。

議長に
砂子三郎氏



3月定例会の最終日に金森幸蔵
議長が辞職。
直ちに選挙が行われた結果、
議長に砂子三郎氏
が当選しました。



まちなか観光について

問 ①見る・味わう・買い物・学ぶ等、一連性の機能ある街づくりのため、街の配置図を作成する考えはないか。

②「水の郷」にあつて、市街地は水の顔が見えないと思うが、整備や保全等、徹底すべきではないか。

③土産品や地場産品を売る観光用の商店、あるいは商店街づくりが必要と思うが、行政支援の考えはないか。

答 ①近年、心の安らぎを求めながらも何かの目的をもって訪れる観光客が増えており、受け入れ側の、「イメージづくり」や、「魅力の提供」が多様化するニーズに不可欠な条件となっており、これまでもいろいろと「大野らしさ」の取り組みをし

(御清水) (寺町通り)

てきた。

しかし、柔軟な発想、あるいは面白い企画など、魅力あるパンフレット等を考えるとき、行政が直接作成するよりは、関係団体が直接行う方が望ましく、作成費用の一部を補助する等の支援策もあり、観光関係団体等に働きかけている。

なお、観光や自然保全など、街の配置図は現在取り組んでいく「都市マスタープラン」の中でも、ある程度表現できるものと考えている。

②「水の郷」には、名水百選の御清水やイトヨ生息地の本願清水など、豊富な湧水池の保全や維持管理に対し、行政だけでなく市民ぐるみで積極的に取り組み、子孫に残すことが重要と考えており、当市の整備・開発計画については、特にこれらうまく利用して当市のイメージアップにつなげるよう、積極的な活用を考えており、「市街地の川の再現」についても、そのような中で十分検討し反映できるように努力したい。

③歩いて散策できる「まちなか観光」のため、道路の石畳舗装や休憩所の設置など、条件整備を進めており、行政としても、各種の支援制度を設けて、観光ルート上となる店舗など、民間活力に今後とも期待をしていきたいと考えている。

グリーンロードについて

問 市役所前から御清水を經由し、越前大野城までの道路にはグリーンラインで観光客の誘導をしているが、舗装も含めて補修の予定はないか。

答 昭和六十三年に「全国水環境シンポジウム」を開催した際参加者を御清水や義景公園・越前大野城等へ案内する道しるべとして「グリーンロード」を敷設した。現在は、観光客に道しるべとして利用されているが、その線は消えかかり、醜くなつてきている。当面、個性的で魅力的な観光看板や観光パンフの充実により、観光客の誘導を図りたいと思っている。

今後は、道路の舗装・補修の状況に応じて実施していきたいと考えており、グリーンロードもこれに合わせて有効な手立てがないかを研究していきたい。

若者の定着促進について

問 インターネットに代表される情報産業の振興が、ひていは若者の定着にもなると思うが、当市の今後取るべき道、また、

新しい産業について聞きたい。

答 地域の中で暮らしたいと考えている若者に、地域の産業起こしや新しいビジネスの中、どのように活躍できるか、という夢のある計画を提示していくことが重要である。

企業の活力源となる若者の持つ「知識・技能」を引き出し、活用できる新たな産業の方向付けや情報網の整備が必要であり、インターネットのホームページを開設して、市内の産

業・物産・観光・イベント等、情報の収集・発信が出来るような条件整備に向けて、行政も積極的に支援していかねければならない時代に入ってきていると感じている。

なお、当市の場合は利用料と別に電話料が必要となるので、この問題を解消するため、方法や費用等を勘案しながら、できるだけ早期に当市にもアクセスポイントが設置されるよう取り組んでいきたいと考えている。

議案等の審議結果

議案番号	件名	結果
第七号	平成八年度大野市一般会計予算案	原案可決
第八号	平成八年度大野市国民健康保険事業特別会計予算案	原案可決
第九号	平成八年度大野市老人保健特別会計予算案	原案可決
第十号	平成八年度大野市簡易水道事業特別会計予算案	原案可決
第十一号	平成八年度大野市農業集落排水事業特別会計予算案	原案可決
第十二号	平成八年度大野市水道事業会計予算案	原案可決
第十三号	大野市中山間地域活性化推進基金設置条例案	原案可決
第十四号	大野市税賦課徴収条例の一部を改正する条例案	原案可決
第十五号	大野市母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決
第十六号	大野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	原案可決
第十七号	バス運行事業に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決
第十八号	大野市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案	原案可決

介護保険制度の導入について

問 国民の期待に応えた公的介護保障を確立するため、十分に時間をかけ国民的合意を図ることが大事と思うがどうか。

答 急激に高齢化が進行しており、緊急かつ重大な関心事であるが、厚生大臣の諮問機関である、「老人保健福祉審議会」は現在もなお審議過程にあり、具体的な施策についての最終答申には至っておらず、また、問題点、対立点も多々聞いており、今後、答申内容及び国会審議なども、注視していきたい。

下水道の加入金等について

問 下水道事業の認可後に算出される加入金や利用料金等をどのように考えているか。

答 当市の場合、受益者負担金は一戸当たり約五十万円までと想定しており、使用料金は県下の実績では、戸当たり七十円から百四十五円であるが、維持管理と起債償還費などを考慮すると、現時点では約百二十円と想定される。

今後は、既存の上水道使用料

とホームポンプからの使用料の現状等を、よく調査して正確な料金徴収方法を採用すべきと判断しており、今後、県下の状況等も参考にして公共下水道の供用開始までには、正確な料金の算定をしたいと考えている。

リゾート開発について

問 ①六呂師高原リゾート構想 ②六呂師高原リゾート構想 ③今日までの社会経済情勢などから、構想自体の見直しをする時期にあるのではないか。

答 ①奥越高原リゾート構想で指定を受けた重点整備地区のうち、「六呂師高原地区」は、平成五年十月に現在の企業と開発に関する覚書を取り交わし、六呂師高原開発協議会を構築、関連道路や水資源等のインフラ整備、リゾート施設の配置計画等の協議を重ねているところであり、今後、具体的な進出計画案がまとまった段階で、関係機関等とも協議し、理解を得ながら開発に取り組んでいきたいと考えている。

②企業との間で進めているリゾート開発構想は、ラフプランの

段階だが、地元にも説明し、理解と協力を求めてきた。また、当市の事業として、昨年度に計画策定を完了し、今年度から基盤作りやソフト事業に着手することになる。「ファミリリゾート整備事業」、今年度には実施設計に入る県の、「ミルクランド構想」が進められており、いずれも平成十年前後のオープンを目指している。

こうした公共事業の先行については、地元からも早期実現を求める強い要望があり、進出企業とも協議をしているところであり、今後は、これら公共施設との整合性を図りながら、地域の特性を活かしたリゾート開発計画を進めるとともに、近い将来の着手に備え、スムーズな民間資本の導入が図られる体制作りを取り組んでいきたい。

③リゾート構想の承認を受けた平成二年から六年が経過し、経済情勢など大きく変化して、長期滞在型を目指す大規模リゾートの在り方が問われている。

今後、事業の推進に際して、保養地に対する考え方や最新の情報を的確に収集し、専門家による採算性の調査等を踏まえながら取り組む必要があり、進出企業の意向や地域住民の要望を把握しながら、六呂師高原の地域性に配慮したリゾート計画を進めたいと考えている。

一月臨時市議会		
第十九号	大野市営簡易水道等供給条例の一部を改正する条例案	原案可決
第二十号	大野地区消防組合規約の変更について	原案可決
第二十一号	平成七年度大野市一般会計補正予算(第四号)案	原案可決
第二十二号	平成七年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第三号)案	原案可決
第二十三号	平成七年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算(第三号)案	原案可決
第二十四号	平成七年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第二号)案	原案可決
第二十五号	平成七年度大野市水道事業会計補正予算(第二号)案	原案可決
市会案第三号	住専問題の徹底究明を求める意見書	原案可決
市会案第四号	地方分権の実現を求める意見書	原案可決
市会案第五号	新たな「食糧・農業・農村基本法」の制定を求める意見書	原案可決
市会案第六号	学習指導要領等の早期改訂を求める意見書	原案可決
市会案第七号	寒冷地手当の見直しに関する意見書	原案可決
市会案第八号	薬害エイズ問題に関する意見書	原案可決
第一号	大野市部等設置条例案	原案可決
第二号	大野市文化会館設置条例案	原案可決
第三号	大野市クリーンセンター設置条例案	原案可決
第四号	大野市浄化センター設置条例案	原案可決
第五号	大野市言語障害児治療教室の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決
第六号	大野市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決
市会案第一号	大野市議会委員会条例の一部を改正する条例案	原案可決
市会案第二号	大野市議会事務局設置条例の全部を改正する条例案	原案可決

農業対策について

問 ①県内の現状でも、中山間

地域では、耕作放棄地が増大しており、国土保全、環境保全機能の低下が懸念されるが、当市の現状はどうなっているか。

②将来の担い手育成の観点から教育面で、市内の小中学校における農業体験学習等、教育実態の現状はどうなっているか。

③新規就農者に奨励金が今年度も予算化されているが、土地・農業機械等々、具体的な施策を講ずる考えはないのか。

答 ①中山間地域では、特に規模拡大や機械化が困難な水田で植林や耕作放棄地として見受けられる状況で、市内で確認している水田は主に五箇地区の一・三ヘクタール、阪谷地区の一・一ヘクタール等、合計約四・六ヘクタール程存在しているが、最近五カ年間をみた場合は特に増加していない。

②昨年度は、ふるさとふれあい促進事業として小山小学校・阪谷小学校・富田小学校・蘇生小学校および上庄小学校の五校で生徒数八百六十四名が、稲や野菜・花の栽培に取り組んでいる状況で、今後ともこれらの事業を推進していきたい。

③新規就農者は四十才未満の者を対象に、新規就農促進対策事業として県・市がそれぞれ二分の一を負担し、兼業農家出身者と非農家出身者には、経営安定奨励金として月額十五万円を一年間、また、非農家出身者には条件整備奨励金として、百二十万円を三年間交付する制度があり、これまで九人が適用されたが、住宅・機械等の貸与制度はない。なお、融資制度は、認定農業者として認定された場合、個人で長期資金として最高一億五千万円、短期資金で五百万円まで借り受け

が可能である。今後とも、事業推進には更に努力していきたい。

更に努力していきたい。



公共料金について

問 市民生活優先の観点から、国保税などの値上げを行わない決意はないか。

答 地方行政は、住民のニーズを的確に把握し、増大・多様化する行政需要に適切に対応することが求められており、限られた財源を有効に活用するために事業の目的、費用効果等を考慮し市政運営を展開していか

ればならないと考えている。

保育料や市営バス運賃は、特定の人が特定の行政サービスを受けるもので、それ相応の費用負担してもらうことになるが、費用の決定は、受益の程度に応じて定める必要がある。

保育料は軽減措置も講じており、今後も保護者に急激な負担増とならないよう配慮しつつ、国の基準額に準じて改正していきたいと考えている。

市営バスの運賃改正は、七年度に民間会社が改正したことにあわせ、今回、運賃の改正を行うものであり、長距離利用者の負担が大きくなるような、値上げ率を軽減している。

国民健康保険税の改正については、年度毎の収支状況や医療費の動向を勘案して決められるべきものであり、昭和六十二年度以来改正していないし、今のところ全体の医療費の伸びも落ち着いており、このままの状態であれば税率の引き上げについては、考えていないが、国からは、改定を指導されており、当然としてもこれに沿うよう努めたいと考えている。

いずれにしても、行政を進めていくにあたっては、行政改革大綱に示されているように、受益者負担の原則を基本として、適宜使用料等の見直しを進めていきたいと考えている。

請願・陳情の審議結果

番号	件名	提出者	結果
継続分六号	「保育所措置制度を堅持し、公的保育の拡充を求める意見書」の提出に関する請願	福井県保育団体連絡会 会長 大西通代	継続審査
請願一号	政府・厚生省の介護保険構想に対する意見書採択を求める請願書	医療と福祉を守る福井県民の会 代表委員 大門和	継続審査
請願二号	屋内ゲートボール場の早期建設についての陳情書	大野市ゲートボール協会会長 高津秋隆 他二十八名	採択
継続分十号	寒冷地手当「見直し」に関する人事院への意見書提出についての陳情書	福井県国家公務員労働組合共闘会議 議長 町原秀夫	取下げ
継続分十七号	シルバー人材センター事業の発展・充実についての陳情書	大野市シルバー人材センター 理事長 川田岩雄	採択
継続分二十号	「日本電信電話株式会社」の在り方についての意見書提出を求める陳情書	全電通福井県支部 執行委員長 三上輝夫 他一名	取下げ
継続分二十二号	人権擁護に関する「条例」もしくは「宣言」の制定についての陳情書	部落解放基本法制定要求国民運動福井県実行委員会 会長 藤下恒庸 他一名	継続審査
陳情一号	新たな「食料・農業・農村基本法」の制定を求める陳情書	食と環境、農業を守る県行動委員会 代表 池内 啓	採択
陳情二号	学習指導要領等の早期改訂を求める陳情書	福井県教職員組合 執行委員長 清水鷹信 他二名	採択
陳情三号	寒冷地手当の支給水準を引き下げる見直しを行わず改善をもとめる意見書に関する陳情書	福井県高等学校教職員組合 代表 金森洋司 他一名	採択
陳情四号	融雪溝の設置について	北大野区 区長 中沢庄一郎	趣旨採択

地震対策について

問 ①どうやら日本列島は、地震の活動期に入ったようだが、当市での緊急避難場所指定などはどうなっているのか。

②地震の時、最大の問題はライフラインの破壊であり、混乱防止のため、町内に手押しポンプをつけたり、単独し尿浄化槽の再活用策として、雑用水タンクに利用する等、日常生活用水を再利用していくという一石二鳥の工夫をしてはどうか。

答 ①避難場所は、現在十七カ所が、大野市地域防災計画で定められており、昨年、市の広報紙三月号でも掲載してある。

②手押しポンプ等市民自らが行う防災計画の啓発については、



「手押しポンプ」も効用はいろいろ…

これから推進したいと考えている。さらに、消火栓、防火水槽等の消防水利施設については、従来より計画的に整備してきており、今後更に充実させていくつもりであるが、古い単独浄化槽を活用し、防火水槽又は雑用水の貯水槽に活用することは、現在のところ行政として考えていない。

継続性のある水管理について

問 ①合併処理浄化層の設置に對しての補助が計上されているが、単に設置時だけでは一過性のもので終わる継続的な水管理はできないと考えるが、施策としてどう考えているのか。

②下水道や浄化槽が供用されると、最終汚泥の処分が問題となるが、当市は産業廃棄物処理公社に委託し、埋立て処分する計画と聞いており、環境保全の立場から、有効堆肥として再利用できるのではないか。

答 ①大野市生活排水処理基本計画を策定し、身近な生活環境である各河川の水质保全を目指すため、合併処理浄化槽設置整備事業も、このような基本方針に基づき創設した。

制度の概要は、補助対象となる地域及び対象者が、「公共下

水道事業及び、農業集落排水事業の認可区域及び予定区域外に五十人槽以下の合併処理浄化槽を設置する個人又は事業所」に對して、定額の補助金を予算の範囲内で交付することとしており、額は、一般家庭及び事業所では五人槽で三十三万九千円等三つのランクを設け、また、飲食店営業許可を有する方など更に三ランクを設け、最高四百四十二万九千円を限度として交付することとしている。

合併処理浄化槽は、日頃から十分な保守点検と定期的清掃が大切であり、設置管理者から提出される記録の確認など、適正な管理がなされるよう、指導体制に万全を期したいと考えており、将来設置数が多くなつた場合には、組織的な体制を整える必要があるとも考えている。

②当市の公共下水道基本計画では、汚泥の最終処分量は一日当たり一・七トンと推定され、処理計画では発生源で処理し、出来るだけ再利用するとの考えのもと、緑農地利用、建設資材利用などの最終汚泥の有効利用が大事と考えている。しかしながら、陸上埋立てと再利用との採算ベースは一日当たり約一・〇トンのため、当市の場合も当初は埋立て処理し、下水道の普及が進んだ時点において、再利用に切り替えたいと考えている。

陳情五号
住専処理に関する意見書採択を求める陳情書

「軍事務費を削って充ちしと福祉の充実を」と国民大運動県行委員金森洋司他二名

一部採択

陳情六号
寒冷地手当に関する陳情

福井県地域寒冷積雪地給対策協議会会長 栗田幸雄

採択

陳情七号
住専処理に国民の税金を使わないように求める意見書採択に関する陳情書

日本共産党福井県委員長 元山章一郎

一部採択

陳情八号
市道の拡幅および橋梁の改修について

大野砂利採取販売協同組合理事長 宮田一也 他四名

継続審査

陳情九号
し尿汲取料金の値上げ改正について

大野市明倫町 山内義高 他五名

継続審査

しかし、二十一世紀は、節水と再利用が主流の水管理の時代で、採算ベースに捕らわれず、早い時期に再利用策を前向きに検討し、計画していきたい。

歳入の見込みについて

問 ①予算編成に際して、税収見込みはどうか。

②今後、税収を増やす政策はあるのか。

答 ①最近の国内景気は、緩やかな回復基調にあると言われてはいるが、その実感がなかなか湧いてこない実情にある。

しかし、当市の税収面では総体的にやや明るさが見えてきた

のではないかと考えている。

今年度の税収は三十八億六千七百万円と見込んでおり、昨年度当初予算と比較して四・三パーセントの増となるが、歳入全体で見ると二七・六パーセントである。また、税収における比率は、市民税が四十四・三パーセント、固定資産税が四十五・三パーセントとなる。

②今後とも地元産業の育成や、企業誘致を推進していくことが重要であり、その中で法人・個人の所得の向上や固定資産税の増収を期待していきたいと考えているが、一方では税の公平・公正を旨としながら課税客体の把握に努めるとともに、市税の滞納整理についても、一層努力していきたいと考えている。

各常任委員会委員を
改選

任期満了に伴う各常任委員会委員の改選が行われ、新しい委員の構成が、次のように決まりました。

◎は委員長 ○は副委員長

総務常任委員会

- ◎常見 悦郎 ○坂元 千秋
- 笹島 彦治 岡田 高大
- 畑中 章男 砂子 三郎

産業経済常任委員会

- ◎竹内 安汪 ○幾山 秀一
- 高岡 和行 牧野 勇
- 藤田 護 金森 幸藏

建設常任委員会

- ◎宇野政市郎 ○谷口 彰三
- 雨塚 忠夫 野田幾久代
- 柴 正夫 平間 源治

教育民生常任委員会

- ◎村西 利栄 ○影路 昭治
- 浦井 智治 米村 輝子
- 本田 章 松井 治男

議会運営委員会

- ◎松井 治男 ○宇野政市郎
- 米村 輝子 笹島 彦治
- 常見 悦郎 雨塚 忠夫

林業の振興対策について

問 ①国産材木の価格低迷、大量の外国産材輸入などの状況から、当市の生産振興をどの様に図っていくのか。その際、水源涵養対策としての機能を持つ広葉樹の造林計画はあるのか。

答 ①林道網等林業生産基盤の整備に積極的に取り組んできたところであり、今後とも引き続き強化していきたい。また、当市の天然林は約三万一千ヘクタールで、森林面積の約七十パーセントを占め大部分が広葉樹林である。森林は木材の供給・国土保全・保健休養機能など、多様な公益的機能を持ち、中でも水源涵養機能は生活に直結する極めて重要であり、広葉樹林の保護や保育、また、積極的な造成は水源涵養対策として極めて重要な課題と考えており、従来から広葉樹林の保育事業を実施してきたが、さらにケヤキやクヌギの植栽についても国庫補助事業の採択を要望しているところであり、今後とも広葉樹林の



「広大な森林公園」として夢を
はせる巢原区の天然ブナ林

保全と形成を図り、水源の涵養に努力していきたい。
②林業退職金共済制度の定着化促進など林業事業体で働く方々への支援や、共同で行う森林の保育事業、および研修会参加への支援等を実施してきた。
また、後継者づくりには、幅広く一般の方々にも森林や林業に関心を持ってもらうことが極めて重要であり、地域や児童の緑化活動を支援しており、従来の取り組みに加え、新たに樹木の育成事業を計画し、林業従事者の資格取得を支援して資質の向上を図る等、幅の広い対策を展開したいと考えている。

③巢原地区の百九十六ヘクタールの私有林を取得し、ブナ天然林、ミズバショウ群落、希少な樹齢一千年の大トチの巨木等、貴重な自然環境の保全と共に市民の憩いの場として活用し、大野の自然のままの森林公園を創造しようとするものである。
貴重な緑は二十一世紀の子供

水質検査室を設けてはどうか

問 ①市民がもつと自分たちの水環境に関心を持つためにも、水質検査室が必要と思うがどうか。また、検査室を設けたら、どれくらい費用がかかるのか。
②現在、各行政の所管する水質検査には、どの程度支出しているのか。

答 ①現在水質検査は、北陸公衆衛生研究所等へ委託しているが、検査室を設けた場合の費用を試算したことはなく、これを市自らが行うとなると、設置する施設が必要となり、何よりも環境計量士等の有資格者を確保する問題等の解決がせまられ、機械設備費・人件費・設置場所

地域医療対策について

等を考え併せると相当額になると考える。また、関係法令に基づく検査機関としての指定も受けなければならず、現段階では困難であるが、今後の課題として受け止めていきたい。
②外部に委託している水質検査費は、市全体で約千四百十五万円である。飲料水・上水道等・浄化槽・河川水又は工場排水に係るもの等であり、特に法律に基づき公的機関に委託しなければならぬものは、公共施設の飲料水・上水道・浄化槽に係るもの、約四百九十五万円となっている。

問 ①総合病院の建設問題が地域医療の充実策に代わったのではないか。
②専門機関への調査委託目的と結果の報告時期はいつごろか。
③調査結果によって、当市における総合病院建設問題の解決策になるのか。

答 ①総合病院の建設は、安心して医療を受けられる体制の一つであると考えており、総合病院を建設することだけでは、地域医療体制が充実するとは考えられないので、言葉をすり替えているとは思っていない。

②地域医療のあり方は、地域に
適し、かつ市民が納得できる体
制づくりが重要であり、科学的
なデータをもとに医師をはじめ
め専門家がリーダーシップをと
って、協議することが重要であ
り、さらに、市民の代表者や
様々な立場の人々が共通の認識
に立って協議する必要もあり、
現状の分析から当市の実情にあ
った医療体制のあり方を調査す
るもので、報告書は平成八年度
中に完成する予定である。

③今まで検討出来なかつた医療
需給分析、病院の性格づけ、病
院の規模機能、資金等が調査さ
れ、具体的な報告をもとに十分
協議することで解決策が見い出
せることと考えている。

東縦貫線の建設計画について

問 ①この計画の今後のタイム
スケジュールと、路線計画の基
本となる農面道路の状況を把握
しているのか。

答 ②東縦貫線建設計画との関連性
から、維持管理をどのように進
めるのか。
答 ①当市と勝山市を結ぶ重要
幹線道路として、また、市街地
の外環状道路の一部として位
置付け、平成二年より地元合意
の形成に鋭意努力しており、今

後も、地元関係区と精力的に交
渉を重ね、早期に地元合意を
図るとともに、計画原案の作成
行つて、平成九年度を目途に都
市計画法の手続きを行つていく
考えである。また、道路の築造
は、遅くとも、中部縦貫自動車
道の開設時までには、最低二車
線で供用開始が出来るよう努力
していきたいと考えている。

この道路の現況は、道路交通
体系の変化とともに、大型車両
等の交通量が多くなり、ほとん
ど全線で舗装の傷みが見られる
が、原因は農道として築造され
たもので、市としても管理上苦
慮しているところである。

②維持管理は、随時傷みの著し
い所より舗装の補修工事を行つ
ているが、何分にも全線に及び
損傷がひどい状況でもあり、計
画的に補修を行ないたいが、東
縦貫線の建設計画もあり、大規
模な改修工事は手戻り工事とな
つて不経済のため、早期の事業
に着手できるように最大限努力し
たいと考えている。

福祉問題に対する施策について

問 ①今年度は県下に先がけ、
保育料の値上げを諮問したが、
何か特別な事情があったのか。
②医療費に関する手続きや国民

健康保険における高額療養費受
領委任方式など、利便を図る制
度の実現に向けて努力する考え
はないか。

③重度の障害を持つ人や要介護
の人達が利用するリフトバス
は、スムーズな運営のサービス
網が必要と思うが、どのように
考えているか。

答 ①国の徴収基準額に対して
今回の改定率は低く、県内他市
に比べても高額ではない。保育
については、毎年高度で多様な
サービスが求められており、新
規事業も増えていることから保
育所経費も年々増大しており、
今後とも、サービスの充実は、
それに見合った経費を必要とす
る観点に立って、国の改定率に
準じながらも、当市相応の保育
料の適正徴収に努めていかなけ
ればならないと考えている。

なお、保育料の値下げや据え
置きは、後年度に大きな跳ね返
りが来ることも、十分念頭に置



く必要があり、改定時期を早め
たのは、審議会の意見や市民の
声を反映して、保護者の方が事
前に準備も可能と判断したこと
による。

②乳幼児などの医療費助成制度
は、医療機関の窓口で申請手続
きが出来よう、本年十月一日
を目途に県内統一的に準備を進
めているが、国民健康保険の高
額療養費支給制度が法の規定に
基づいて給付を行つており、現
行法令上、受領委任方式への移
行は困難であると考えている。

③当市には現在、二台のリフト
車が運行しており、一台は、市
内の旅客自動車会社が車椅子の
ままタクシーに乗車できるよう
改造したもので、平成六年度か

ら運行しており、六年度の利用
は延べ二十四回、五十四人であ
った。また、もう一台は、昨年
七月に市内の篤志家から寄贈さ
れたもので、社会福祉法人の大
野荘へ運行を委託しており、機
能回復訓練や通院等に利用して
おり、利用回数は、昨年九月か
ら六カ月間で、延べ六十回、百
二十人の利用があった。

利用範囲は市内一円と勝山病
院としており、利用料は乗車一
回につき、搭乗者保険及び燃料
費相当額の負担を願つている。
今後とも、リフトタクシーや
リフト車の有効利用を周知徹底
するとともに、気軽に利用して
もらえるよう関係先に依頼もし
ていきたい。

請願書・陳情書の提出はお早めに

(様式例)

請願(陳情)書 (紹介議員(氏名)印)	(件名)
○年○月○日	○○○○について
大野市議会議長○○様	(要旨)
提出者(住所)	(理由)
(氏名)印	

請願・陳情は、年齢、人数等に関わりなくだれでも
行うことができます。紹介議員の署名のあるものを請
願書、ないものを陳情書と言います。

※請願・陳情書はいつでも受け付けますが、議会開
会の翌日までに提出されたものをその議会で扱
います。それ以降のものは次の定例会で扱
います。定例会は三・六・九・十二月に行われます。

※当市議会の申し合わせで、郵送によるものは原則
として本会議で審議されません。

詳しくは、市役所議事事務局までお尋ねください。

委員会報告

各委員会における協議事項、意見、要望等の趣旨について、それぞれ委員長よりの報告は次のとおり。

●総務常任委員会

○全国の「大野氏」活用事業について

全国の、「大野さん」や名前を当市に招き、交流・交歓を行なうものであるが、対象者があまりにも多いため、募集・人選の対応には慎重を期する必要がある。また、未長く当市のサポーターとして位置付けていくことも肝要である。従って、募集要項の作成や事業内容の決定に際しては十分に留意し、初期の目的達成に向け、混乱を来たすことなく実施されたい。

○健康保養施設整備事業について

南新在家に、入浴施設を備えた健康保養施設を建設するため、この事業の中で測量等を行うものである。この施設については、終末処理場の建設予定に

関する地元振興策として温水プール建設計画が浮上し、その後、地元振興策と合わせ、下庄北部地区全体の活性化と当市民の保養に供するものと位置づけられたものであるが、執行に際しては、地元の意向を踏まえ、混乱が生じないよう慎重を期して行われたい。

また、当市では今後、保健・医療・福祉などの機能を備えた総合的な福祉施設の建設も必要であり、その整合性や、施設の位置づけ、建設後の維持管理面に十分配慮した市全体の将来像の中で、計画を進められたい。

●産業経済常任委員会



○亀山環境改善事業について

亀山の生態が損なわれているため、この自然環境改善計画策定に向けての現況調査を行ったとして、現在、大高跡地利用・西校移転・六間アークセス等、亀山に絡む諸課題の結論は「都市マスタープラン」の完成を待つ状況にあるため、執行

に際しては委員会と協議の上、自然環境の現況把握に絞った内容で調査することとされたい。

○環境にやさしい農業推進事業について

EM菌の活用方法と効果を実験する事業補助に際しては、現在も民間企業で研究されているところでもあり、事業の詳しい計画内容が定まった時点で、事前に委員会に示されたい。

○外国人研修生受け入れ事業について

日中交流事業については、交流窓口が、未だ一本化されていない状況であるため、早急に市全体の統一窓口となる機関の設置に努めるとともに、補助金の支出等に当たっては、その機関を通して行なわれたい。

また、言語の面での不都合が生じている現実から、研修生の募集地域絞り込み等の検討も必要ではないか。

○地域活性化調査研究事業について

湯の谷温泉計画断念後の、むらづくりや活性化の方策を検討している阪谷地区開発促進協議会に対し、支援を行うソフト事業である。一方、農業振興の面から、土地改良区を窓口とした中山間地域総合整備事業の計画策定が進められており、窓口が複数にまたがっているため、関係各課がより連携を密にして、

阪谷地区が一体となった活性化策をまとめてゆけるような地元体制づくりに十分配慮し、協議を進められたい。

○陳情十七号シルバー人材センター事業の発展・充実について

老人によるホームヘルプ事業への取り組みに対しては、福祉事務所との調整も必要であり、また、シルバー人材センターは、今後、県単位で統一組織化の方向にあり、動向を見る必要もあるとして継続審査とすべきとの意見もあつたが、今後の高齢者人材活用や老人福祉充実の重要性に鑑み、関係各課と協議しながら事業を一層推進されたいとして、賛成多数で採択した。

●教育民生常任委員会

○環境保全対策事業について

新堀川はこれまで関係地区と行政も一体となつて、生活雑排水やゴミの不法投棄などを一掃し、河川の汚染を改善すべく、汚染の未然防止や意識の高揚を図る啓蒙活動など、精力的に取り組んできたが、今なお、さしたる効果が見えない現状でもあり、この際、河川の浄化を妨げている要因の徹底分析を行い、更に強力な改善策の研究・検討を加え、より積極的な施策の展

開とキメ細かな啓蒙活動に尽力されたい。

○学校体育施設の使用料徴収について

今日までの施設利用者に対する説明会等、性急に事を進めたため、末端までの周知徹底が時間的に十分ではなく、一方、社会体育としての更なる振興の観点からも、徴収した使用料を財源として、利用者への利便性を図るため、施設の整備・充実など、還元策をより積極的に進められたい。

●建設常任委員会

○河川の改良事業について

県が事業主体となつて実施する多くの河川改良事業に際しては、当市の自然環境や多様な生物保全の観点からも、自然型工法のあり方など、市民の要望が考慮されるよう今後とも、仲介など、更なる努力をされたい。

○陳情四号融雪溝の設置について

道幅の狭い所もあり、住民自身による除排雪の体制を確立する上でも陳情の趣旨は理解出来るが、水利権の確保や財政面など解決すべき重要な問題もあることから、全会一致で趣旨採択とした。